



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 大平洋金属株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5541 URL https://www.pacific-metals.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 正幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 松山 輝信 (TEL) 03-3201-6681  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	10,709	△10.2	△6,320	—	△2,071	—	△1,761	—
2024年3月期第3四半期	11,926	△56.7	△8,236	—	△3,095	—	△1,964	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △2,002百万円( —%) 2024年3月期第3四半期 △2,590百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△90.34	—
2024年3月期第3四半期	△100.75	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	71,564	67,057	93.3
2024年3月期	73,790	69,060	93.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 66,803百万円 2024年3月期 68,785百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,437	△13.4	△7,623	—	△2,732	—	△2,538	—	△130.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	19,577,071株	2024年3月期	19,577,071株
2025年3月期3Q	75,768株	2024年3月期	75,605株
2025年3月期3Q	19,501,408株	2024年3月期3Q	19,501,868株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価をめぐる不確実性は高く経済活動への影響は懸念されるものの、雇用情勢及び企業収益等は総じてみれば改善しており、一部に足踏みが残るものの緩やかな回復基調となりました。

海外経済については、中国における不動産市場の停滞、欧米における高水準の金利、中東地域やウクライナ情勢の緊迫化等の影響で各国の景気はばらつきが見られるものの、底堅い個人消費や雇用・所得環境等を背景に、持ち直しの動きを維持しました。

このような状況のもと、当社グループの売上高並びに損益の大半を占めるニッケル事業の主要先であるステンレス鋼業界は、中国では不動産市場の停滞に伴い建築需要等が減退する中で高水準の生産が継続しており、余剰在庫は国外へ輸出され各国内の市況に影響が見られており、また、生産設備の稼働率は総じてばらつきがあり、盛り上がりを欠く推移となりました。

フェロニッケル需要は、前述の環境に加え、海外ステンレス生産者は価格優位性が見られるニッケル銑鉄へ一部調達をシフトしており、また、カーボンニュートラルを意識したステンレスクラップ配合比率見直しも見られ、鈍化傾向の推移となりました。

調達面では、フェロニッケル製品の主原料であるニッケル鉱石の価格は底堅いニッケル鉱石需要等を背景に価格高であり、また、世界的な資源高により諸原燃料価格は高水準にあり、生産コストは高止まりが継続しました。

ロンドン金属取引所(LME)におけるニッケル価格は、中国景気の鈍化、外国為替相場や金融資本市場の変動及び中東やウクライナ情勢の緊迫化、また、ニューカレドニアで発生した暴動に伴うニッケル鉱石の供給懸念等、複合的な要因が意識され、比較的上下動の激しい推移となりました。

その中で、当社のフェロニッケル販売数量は、前述した価格優位性が見られるニッケル銑鉄の価格が当社の販売価格へも影響することから一定の収益性を損なわない戦略的な数量抑制方針を継続したため、前年同四半期と比べ1.1%の減少となりました。

フェロニッケル生産数量は、販売数量抑制方針であるため、前年同四半期と比べ減少しました。

フェロニッケル製品の販売価格は、当社適用平均為替レートは前年同四半期比6.3%の円安の一方で当社適用LMEニッケル価格は前年同四半期比23.2%下落し、また、当社適用価格相場に加えて、ニッケル銑鉄の価格も一部参考としたことから従来と比べ販売価格安となり、収入が伸び悩む厳しい販売環境が継続しました。

このように、厳しい事業環境ですが、採算性重視の受注を徹底、臨機応変な生産販売体制の構築、コストミニマムを追求するための業務効率改善の強化等に努めております。収益基盤の再構築を企図した取り組みでは、海外企業と共同で海底資源から電池用金属材料及び製鋼原料を製造する事業のフィジビリティスタディを進めており、加えて青森県内企業中心に推進するベリリウム製造販売の事業化に向けて当社工場のリソースを最大限に活用する包括的業務提携の締結、また、LIB関連の研究開発等を積極的に進め、新規事業立ち上げの早期実現を目指しており、GHG排出量低減に関するカーボンニュートラルの取り組みを含め、業績の底上げ及び収益安定化に向けた取り組みを継続しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高が10,709百万円、前年同四半期比では10.2%の減収となりました。損益面では、棚卸資産簿価切下げ額の戻入れを計上したことにより売上原価は減少しましたが減収の影響が大きく営業損失は6,320百万円(前年同四半期営業損失8,236百万円)、営業外収益へ計上した持分法による投資利益3,762百万円等を含めた経常損失は2,071百万円(前年同四半期経常損失3,095百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,761百万円(前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失1,964百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①ニッケル事業

ニッケル事業についての経営成績は、「(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況」に記載のとおりであります。

その結果、当部門の売上高は10,105百万円、前年同四半期比10.6%の減収、営業損失は6,289百万円(前年同四半期営業損失8,196百万円)となりました。

②ガス事業

ガス事業についての経営成績は、計画どおり安定した操業ではあったものの原燃料価格上昇の影響等もあり、損失計上となりました。

その結果、当部門の売上高は569百万円、前年同四半期比9.1%の減収、営業損失は36百万円(前年同四半期営業損失24百万円)となりました。

③その他

その他の事業部門では、不動産事業で売買成約はあったものの、維持費等を上回る販売とならなかったため、損失計上となりました。

その結果、当部門の売上高は92百万円、前年同四半期比52.0%の増収、営業損失は1百万円(前年同四半期営業損失22百万円)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの資産、負債及び純資産は、次のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,225百万円減少し、71,564百万円となりました。

流動資産では、在庫数量の減少に伴い商品及び製品、原材料及び貯蔵品等が減少し、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ2,081百万円の減少となりました。

固定資産では、株式売却及び一部市場価格の下落による投資有価証券の減少等があり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ143百万円の減少となりました。なお、当社の投資有価証券23,575百万円の主な内訳は、持分法適用による連結額19,447百万円、関連会社株式2,316百万円、フィリピンの株式市場へ上場している当社持分法適用関連会社のホールディングカンパニーNickel Asia Corporation株式1,407百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ222百万円減少し、4,507百万円となりました。

流動負債では、支払手形及び買掛金が決済等の影響で増加しましたが、その他に含まれる設備未払金の決済による減少等もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ30百万円の減少となりました。

固定負債では、投資有価証券評価差額の影響に伴う繰延税金負債の減少等もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ191百万円の減少となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,003百万円減少し、67,057百万円となりました。

株主資本は、損失計上等により1,732百万円の減少、その他の包括利益累計額はその他有価証券評価差額金の減少等により250百万円の減少及び非支配株主持分20百万円の減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、中国における不動産市場の停滞、欧米における高水準の金利、中東地域やウクライナ情勢の緊迫化等の影響を受けて、依然不確実性が高い状態で推移しております。

当社フェロニッケル製品の数量面については環境に大きな変化は見られず、収益性の観点から数量抑制の方針を継続しており、前回公表計画から減少を見込んでおります。

損益について、フェロニッケル製品の販売価格面では、当社適用価格相場に加えてニッケル銑鉄の価格も一部参考とした価格水準のため収入は一定程度抑えられ、また、調達価格面では、主原料であるニッケル鉱石価格及び原燃料や電力の価格は引き続き高水準であるため、価格面で大きな影響を与えることが見込まれます。

このように、厳しい状況は継続しておりますが、こうした事業環境等への対応は、当社グループの中期経営計画において掲げる基本方針等で取り組む活動に合致しており、引き続き強く推し進めて参ります。

以上から、2024年10月30日に発表いたしました連結業績予想を次のとおり修正し、併せて前提条件につきましても見直しております。

## 《参考》

## 【業績予想の修正】

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2024年10月30日発表)	百万円 14,096	百万円 △7,858	百万円 △3,619	百万円 △3,394	円 銭 △174.04
今回修正予想(B)	13,437	△7,623	△2,732	△2,538	△130.15
増減額(B-A)	△659	235	887	856	
増減率(%)	△4.7	—	—	—	
(参考)前期実績 (2024年3月期)	15,521	△9,114	△2,119	△1,074	△55.10

## 【前提条件の修正】

	販売数量(t)			生産数量(t)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2024年10月30日発表)	3,284	2,769	6,053	2,010	1,950	3,960
今回発表予想	3,284	2,346	5,630	2,010	1,842	3,852
(参考)前期実績 (2024年3月期)	3,052	2,973	6,025	3,210	2,825	6,035

	適用LMEニッケル価格(\$/lb)			適用為替(¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2024年10月30日発表)	8.05	7.70	7.89	153.32	139.33	146.92
今回発表予想	8.05	7.32	7.74	153.32	145.33	149.99
(参考)前期実績 (2024年3月期)	10.78	8.42	9.62	140.18	148.85	144.46

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,758	23,120
売掛金	5,001	4,820
有価証券	2,199	2,399
商品及び製品	7,303	4,170
仕掛品	257	231
原材料及び貯蔵品	3,521	3,376
その他	1,773	1,615
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	41,814	39,733
固定資産		
有形固定資産	7,388	7,395
無形固定資産	285	11
投資その他の資産		
投資有価証券	23,687	23,575
退職給付に係る資産	476	512
その他	142	341
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	24,301	24,424
固定資産合計	31,975	31,831
資産合計	73,790	71,564

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	234	462
未払費用	892	855
未払法人税等	47	24
賞与引当金	117	32
復旧費用引当金	5	-
その他	376	268
流動負債合計	1,674	1,643
固定負債		
退職給付に係る負債	59	65
繰延税金負債	1,135	953
再評価に係る繰延税金負債	547	534
環境対策引当金	2	2
契約損失引当金	1,273	1,273
復旧費用引当金	14	14
その他	23	20
固定負債合計	3,055	2,863
負債合計	4,729	4,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,922	13,922
資本剰余金	3,481	3,481
利益剰余金	49,658	47,926
自己株式	△452	△452
株主資本合計	66,609	64,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,183	919
土地再評価差額金	400	371
為替換算調整勘定	179	229
退職給付に係る調整累計額	412	406
その他の包括利益累計額合計	2,176	1,926
非支配株主持分	274	254
純資産合計	69,060	67,057
負債純資産合計	73,790	71,564



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	11,926	10,709
売上原価	18,708	15,373
売上総損失(△)	△6,781	△4,664
販売費及び一般管理費		
販売費	260	253
一般管理費	1,193	1,402
販売費及び一般管理費合計	1,454	1,656
営業損失(△)	△8,236	△6,320
営業外収益		
受取利息	16	28
受取配当金	228	78
不動産賃貸料	80	83
持分法による投資利益	4,546	3,762
為替差益	328	315
その他	45	35
営業外収益合計	5,245	4,302
営業外費用		
支払利息	0	0
設備賃貸費用	10	10
棚卸資産処分損	31	2
コミットメントフィー	21	21
外国源泉税	33	10
その他	8	8
営業外費用合計	104	53
経常損失(△)	△3,095	△2,071
特別利益		
固定資産売却益	7	0
投資有価証券売却益	1,538	128
受取保険金	-	459
特別利益合計	1,546	588
特別損失		
固定資産除却損	13	33
投資有価証券売却損	-	2
特別損失合計	13	36
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,563	△1,518
法人税、住民税及び事業税	386	351
法人税等調整額	29	△87
法人税等合計	415	264
四半期純損失(△)	△1,978	△1,782
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	△20
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,964	△1,761

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純損失(△)	△1,978	△1,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,539	△265
退職給付に係る調整額	△22	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	949	54
その他の包括利益合計	△612	△220
四半期包括利益	△2,590	△2,002
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,576	△1,982
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	△20

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ニッケル 事業	ガス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,301	564	11,865	61	11,926	—	11,926
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	62	62	—	62	△62	—
計	11,301	626	11,927	61	11,988	△62	11,926
セグメント損失(△)	△8,196	△24	△8,220	△22	△8,243	6	△8,236

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業であります。

2 セグメント損失の調整額6百万円には、セグメント間取引消去6百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ニッケル 事業	ガス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,105	511	10,617	92	10,709	—	10,709
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	58	58	—	58	△58	—
計	10,105	569	10,675	92	10,768	△58	10,709
セグメント損失(△)	△6,289	△36	△6,325	△1	△6,327	6	△6,320

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業であります。

2 セグメント損失の調整額6百万円には、セグメント間取引消去6百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	261百万円	261百万円